

9月・10月はDX推進指標の 集中実施期間です

DXに関する35問からなる自己診断と、他社比較ができる
「ベンチマーク」を活用し、デジタル時代の競争力ある企業を目指す

DXとは



- デジタル時代において競争力ある企業になることを目指す。
- デジタル技術などのイノベーションを柔軟に取り込み、顧客や社会のニーズに迅速に対応できる企業になるよう変革していく。

DX推進指標



- DX推進指標は自己診断。項目に回答していくことでDX推進に向けた自社の課題や、次に実施すべきアクションがわかります。
- 経営・仕組みの観点19項目とITの観点16項目の全35項目。

DX推進に向けた課題とDX推進指標の活用イメージ

認識共有

わが社はDXできている？できてない？

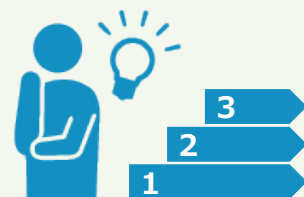
- ✓ DX推進指標に回答するために、経営者や事業部門、DX部門、IT部門などの関係者が集まって議論することで、関係者間での認識の共有を図り、今後の方向性の議論を活性化



アクション

DXの推進に向けて何をしたらよいの？

- ✓ 自社の現状や課題の認識を共有した上で、あるべき姿を目指すために次に何をすべきか、アクションについて議論し、実際のアクションにつなげる



進捗の把握

去年に比べてわが社のDXは進んだ？

- ✓ 毎年診断を行ってアクションの達成度合いを継続的に評価することにより、DXを推進する取組の経年変化を把握し、自社のDXの取組の進捗を管理する



自己診断結果の提出にご協力ください

10月31日
締め切り*1

提出企業にはベンチマークを提供（無償）

✓ 自己診断を実施し、診断結果をIPA*2に提出いただいた企業には、他の提出企業のDX取組状況と自社の取組状況を比較できる「ベンチマーク」を提供しています

自己診断結果入力サイト



IPA - DX推進指標 自己診断結果入力サイト
<https://www.ipa.go.jp/ikc/info/dxpi.html>

ベンチマーク



速報版
11月中頃
提供予定

全体の傾向	
全体概要	業種別
定性指標	売上規模別
	従業員数規模別
先行企業の特徴	
概要	定性指標(現在)
	定性指標(目標)
業種・産業・売上別の特徴	
概要	定性指標(現在)
	定性指標(目標)

次年度の事業計画立案に活用

分析レポートの公表について

IPAにおいてDX推進指標の令和元年版分析レポートを公表しています。令和2年版は令和3年3月頃公表予定です。

IPA - DX推進指標 自己診断結果 分析レポート
<https://www.ipa.go.jp/ikc/reports/20200528.html>

DX推進指標について

DX推進指標の詳細についてはこちら
 経済産業省 - 産業界におけるデジタルトランスフォーメーションの推進
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/dx/dx.html

提出に協力いただいた企業の公表について

経済産業省・IPAのホームページ（URLは左記）において、令和元年中にDX推進指標を実施・提出いただいた企業名を「ベンチマーク・分析にご協力いただいた企業」として公表しております。*4（令和2年についても公表予定です）

提出いただいた情報の取り扱いについて

個別企業の診断結果や報告に含まれる連絡先個人情報が外部公表されることはありません。

*1 速報版ベンチマークに向けた提出期限。10月31日以降も提出を受付ます。*2 DX推進指標の収集・分析は独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が実施しています。*3 業種・産業別分析は十分な数のデータが集まった業種・産業についてのみ提供しています。*4 非公開を希望する企業を除く。

本件に関するお問い合わせ先